(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第6501089号
(P6501089)
(45)発行日　平成31年4月17日(2019.4.17)　(24)登録日　平成31年3月29日(2019.3.29)

(51)Int.Cl.　F I
*A01K 1/02 (2006.01)*　A01K 1/02 Z

請求項の数 10　(全 9 頁)

(21)出願番号　特願2017-198577(P2017-198577)
(22)出願日　平成29年10月12日(2017.10.12)
(65)公開番号　特開2019-33736(P2019-33736A)
(43)公開日　平成31年3月7日(2019.3.7)
審査請求日　平成29年10月13日(2017.10.13)
(31)優先権主張番号　106128126
(32)優先日　平成29年8月18日(2017.8.18)
(33)優先権主張国　台湾(TW)

(73)特許権者　511203710
侯　雀厘
台湾　新北市永和区保生路２２巻１９弄２７号１７Ｆ
(74)代理人　100091683
弁理士　▲吉▼川　俊雄
(74)代理人　100179316
弁理士　市川　寛奈
(72)発明者　林宜忠
台湾　新北市永和區保生路２２巻１９弄２７號１７樓

審査官　坂田　誠

最終頁に続く

(54)【発明の名称】ペットカート

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
枠状のシャーシフレームを備え、当該枠状のシャーシフレームの後側に後フレームが設けられ、当該枠状のシャーシフレーム及び後フレームの両側にそれぞれ折り畳みフレームが斜めに設けられ、後フレームの先端にカートハンドルが延設され、且つ、当該枠状のシャーシフレームには底板が設けられるとともに、当該枠状のシャーシフレームの先端両側にはキャスターがそれぞれ設けられ、後端両側には車輪がそれぞれ設けられるペットカート本体、
当該ペットカート本体両側の折り畳みフレームの内側に回転軸ケースがそれぞれ設けられ、当該回転軸ケースが２本の支柱によって当該枠状のシャーシフレーム及び後フレームにそれぞれ接続され、当該回転軸ケースの先端には、斜め上方に延伸する天井支持バーと、前方に向かって延伸する前窓支持バーがそれぞれ設けられ、当該前窓支持バーの両側にはスライドが設けられ、当該スライドが支柱を介して当該枠状のシャーシフレームに接続される調整可能支持バー群、及び
当該ペットカート本体の外側を覆うとともに、当該天井支持バー及び前窓支持バーの位置を調整することで、閉止、前側開放及び全開パターンに調整されるよう、当該調整可能支持バー群に対応する調整可能天井、を含むペットカート。
【請求項２】
当該折り畳みフレームは上フレームと下フレームをそれぞれ備え、当該上フレームと当該下フレームの接続箇所に折り畳み関節が設けられ、当該折り畳み関節がロック状態の場

合には、当該上フレームと当該下フレームがまっすぐに固定された形態で維持され、当該折り畳み関節が開放状態の場合には、当該上フレームが当該下フレームに対して回動することで折り畳み可能となる請求項１記載のペットカート。
【請求項３】
当該カートハンドルの左右両側には、当該カートハンドルの角度（高さ）を調整するための調整つまみがそれぞれ設けられている請求項１記載のペットカート。
【請求項４】
当該調整可能天井が閉止パターンの場合、当該天井支持バーが斜め前方に延伸するとともに、当該前窓支持バーが前方に延伸しつつ当該枠状のシャーシフレームと平行になる請求項１記載のペットカート。
【請求項５】
当該調整可能天井が前側開放パターンの場合、当該調整可能天井の前方に開口が形成されるよう、当該天井支持バーが斜め前方に延伸するとともに、当該前窓支持バーが回動して当該天井支持バーと平行になる請求項１記載のペットカート。
【請求項６】
当該調整可能天井が全開パターンの場合、当該調整可能天井が前方から後方にかけて開放されるよう、当該天井支持バーが後方に回動して当該回転軸ケースに当接するとともに、当該前窓支持バーが同様に後方へ回動して当該天井支持バーの前側に重ねられる請求項１記載のペットカート。
【請求項７】
当該キャスターは取り外し可能であり、ケーシング及び貫設バーを備え、当該貫設バーは当該ケーシング内に挿入及び位置決め可能であるとともに、当該ケーシングから抜き出し可能である請求項１記載のペットカート。
【請求項８】
当該車輪の外側にはクイックリリースボタンが設けられ、当該クイックリリースボタンを押下すれば、当該車輪の車軸が当該後輪の孔から外れて車輪が取り外される請求項１記載のペットカート。
【請求項９】
当該枠状のシャーシフレームの後方には、両側の車輪を固定するためのブレーキペダルが更に設けられる請求項１記載のペットカート。
【請求項１０】
当該調整可能天井は、前側に前窓が設けられ、両側に通気孔が設けられ、上面に天窓が設けられ、後方にファスナー扉が設けられ、当該ファスナー扉にポケットが更に設けられる請求項１記載のペットカート。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明はペットカートの調整可能な支持バー及び天井技術に関し、特に、高齢や身体が不自由となった大型犬にいっそう適した全体構造となるよう天井の各種パターンが速やかに調整され、ペットと飼い主双方にとって使用時の利便性が向上するペットカートの調整可能な支持バー及び天井構造に関する。
【背景技術】
【０００２】
現代社会では少子化傾向や未婚、ディンクス世帯の増加に伴って、ペットと暮らすライフスタイルがブームとなっている。ペットと暮らすことで生活を豊かにしたいとの思いは単身者も既婚者も同様であり、且つ、ペットを傍に置くことで心身ともにより健康になるとの研究結果も示されている。ペットの種類は様々であるが、最も多く飼育されているのが犬である。犬は飼い主のストレスを緩和してくれるだけでなく、人間にとっては最も忠実な友達となる。そのため、愛情豊かな飼い主はまるで自分の子供のように犬の世話を焼き、一緒に散歩に出かけるほか、許可されていれば公共の場所に伴うことも多い。

【０００３】
犬と散歩に出かける場合、基本的には首輪が用いられるが、このほかによく見られるのがペットカートの利用である。様々な体型の犬がカート内で落ち着いて座し、最も快適な状態で散歩を楽しめるよう、ペットカートには犬の体型に合わせて様々なサイズのものが存在する。
【０００４】
大型犬の多くは温厚で情緒が安定していることから人気であり、飼育を希望する人が多い。しかし、大型犬の散歩時には他よりも大きなペットカートが必要とされる。市販の大型ペットカートは大型犬が出入りしやすいように作られてはいるが、中型犬や大型犬は高齢のため身体が不自由になると、ペットカート内での方向転換ができなくなる。そのため、高齢の中型犬や大型犬をペットカートに乗せることは難しく、ペットと飼い主双方にとって不都合が生じていた。
【０００５】
そこで、本発明では、ペットカートの天井構造を閉止パターン、前側開放パターン、全開パターンに速やかに調整可能であり、最基本事項としてペットの飛び出しを回避するだけでなく、身体が不自由になったペットも乗り降りしやすい、高齢の中型犬や大型犬への使用にいっそう適したペットカートを発明し、全体としての実用性と利便性を向上させるとの点を積極的に開示する。
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００６】
本発明は、主として調整可能支持バー群及び調整可能天井によって、ペットカートを閉止パターン、前側開放パターン及び全開パターンに速やかに調整可能であり、通常の中型犬や大型犬に使用可能なだけでなく、高齢で身体が不自由となった中型犬や大型犬への使用にいっそう適しており、全体としての実用性及び利便性が向上するペットカートの調整可能な支持バー及び天井構造を提供することを目的とする。
【課題を解決するための手段】
【０００７】
上記の目的を達するべく、本発明は、ペットカート本体、調整可能支持バー群及び調整可能天井を含むペットカートの調整可能な支持バー及び天井構造を提供する。ペットカート本体は、枠状のシャーシフレームを備え、枠状のシャーシフレームの後側に後フレームが設けられ、枠状のシャーシフレーム及び後フレームの両側にそれぞれ折り畳みフレームが斜めに設けられ、後フレームの先端にカートハンドルが延設され、且つ、枠状のシャーシフレームには底板が設けられるとともに、枠状のシャーシフレームの先端両側にはキャスターがそれぞれ設けられ、後端両側には車輪がそれぞれ設けられる。調整可能支持バー群は、ペットカート本体両側の折り畳みフレームの内側に回転軸ケースがそれぞれ設けられ、回転軸ケースが２本の支柱によって枠状のシャーシフレーム及び後フレームにそれぞれ接続され、回転軸ケースの先端には、斜め上方に延伸する天井支持バーと、前方に向かって平行に延伸する前窓支持バーがそれぞれ設けられ、前窓支持バーの両側にはスライドが設けられ、スライドが支柱を介して当該枠状のシャーシフレームに接続される。調整可能天井は、ペットカート本体の外側を覆うとともに、天井支持バー及び前窓支持バーの位置を調整することで、閉止、前側開放及び全開パターンに調整されるよう、調整可能支持バー群に対応する。
【０００８】
好ましい実施例において、調整可能天井が閉止パターンの場合、天井支持バーが斜め前方に延伸するとともに、前窓支持バーが前方に延伸しつつ当該枠状のシャーシフレームと平行になる。調整可能天井が前側開放パターンの場合、調整可能天井の前方に開口が形成されるよう、天井支持バーが斜め前方に延伸するとともに、当該前窓支持バーが回動して当該天井支持バーと平行になる。調整可能天井が全開パターンの場合、調整可能天井が前方から後方にかけて開放されるよう、天井支持バーが後方に回動して当該回転軸ケースに

当接するとともに、前窓支持バーが同様に後方へ回動して天井支持バーの前側に重ねられる。

【図面の簡単な説明】

【０００９】

【図１】図１は、本発明にかかるペットカートの調整可能な支持バー及び天井構造の好ましい実施例におけるカバー無しの調整可能天井の外観を示す斜視図である。

【図２】図２は、本発明にかかるペットカートの調整可能な支持バー及び天井構造の好ましい実施例の外観を示す斜視図である。

【図３Ａ】図３Ａは、本発明にかかるペットカートの調整可能な支持バー及び天井構造の閉止パターンにおける使用状態を示す図である。

【図３Ｂ】図３Ｂは、本発明にかかるペットカートの調整可能な支持バー及び天井構造の閉止パターンにおける調整可能支持バー群及び調整可能天井の側面構造を示す図である。

【図４Ａ】図４Ａは、本発明にかかるペットカートの調整可能な支持バー及び天井構造の前側開放パターンにおける使用状態を示す図である。

【図４Ｂ】図４Ｂは、本発明にかかるペットカートの調整可能な支持バー及び天井構造の前側開放パターンにおける調整可能支持バー群及び調整可能天井の側面構造を示す図である。

【図５Ａ】図５Ａは、本発明にかかるペットカートの調整可能な支持バー及び天井構造の全開パターンにおける使用状態を示す図である。

【図５Ｂ】図５Ｂは、本発明にかかるペットカートの調整可能な支持バー及び天井構造の全開パターンにおける調整可能支持バー群及び調整可能天井の側面構造を示す図である。

【発明を実施するための形態】

【００１０】

以下に、特定の具体的実施例を挙げて本発明の実施形態につき説明する。なお、当業者であれば本明細書に開示の内容から本発明のその他の利点及び効果を容易に理解可能である。

【００１１】

また、以下では図面を参照して本発明の実施例につき説明するが、以下で挙げる図面は簡略化した図面であり、概略的に本発明の基本思想を説明するためのものにすぎない。図面には本発明に関係する構造のみを示しており、実際に実施する際の部材数や形状及びサイズに基づいて記載したものではない。そのため、実際に実施する際の各部材の形態、数量及び比率は図示したものに限らず、実際の設計に基づいて変更する必要がある。

【００１２】

まず、本発明にかかるペットカートの調整可能な支持バー及び天井構造の好ましい実施例におけるカバー無しの調整可能天井の外観を示す斜視図である図１と、本発明にかかるペットカートの調整可能な支持バー及び天井構造の好ましい実施例の外観を示す斜視図である図２を参照する。図示するように、第１実施例において、本発明にかかるペットカートの調整可能な支持バー及び天井構造１は、中型犬や大型犬への使用に特に適しており、ペットカート本体１１、調整可能支持バー群１２及び調整可能天井１３を含む。ペットカート本体１１は枠状のシャーシフレーム１１１を備え、枠状のシャーシフレーム１１１の後側には後フレーム１１２が設けられている。枠状のシャーシフレーム１１１及び後フレーム１１２の両側には、それぞれ折り畳みフレーム１１３が斜めに設けられている。また、後フレーム１１２の先端にはカートハンドル１１４が延設されており、枠状のシャーシフレーム１１１には底板１１５が設けられている。枠状のシャーシフレーム１１１は先端両側にキャスター１１６がそれぞれ設けられるとともに、後端両側に車輪１１７がそれぞれ設けられている。

【００１３】

ペットカート本体１１両側の折り畳みフレーム１１３の内側において、調整可能支持バー群１２には回転軸ケース１２１がそれぞれ設けられている。回転軸ケース１２１は、２本の支柱１２２によって枠状のシャーシフレーム１１１と後フレーム１１２にそれぞれ接

続されている。回転軸ケース１２１の先端には、斜め上方に延伸する天井支持バー１２３と、前方に向かって平行に延伸する前窓支持バー１２４がそれぞれ設けられている。前窓支持バー１２４の両側にはスライド１２５が設けられており、スライド１２５は支柱１２２を介して枠状のシャーシフレーム１１１に接続されている。

【００１４】

調整可能天井１３はペットカート本体１１の外側を覆うとともに、天井支持バー１２３及び前窓支持バー１２４の位置を調整することで、閉止、前側開放及び全開パターンに調整されるよう調整可能支持バー群１２に対応している。

【００１５】

好ましい実施例において、折り畳みフレーム１１３は上フレームと下フレームをそれぞれ備える。上フレームと当該下フレームの接続箇所には折り畳み関節１１３１が設けられている。折り畳み関節１１３１がロック状態の場合には、上フレームと当該下フレームがまっすぐに固定された形態で維持され、折り畳み関節が開放状態の場合には、上フレームが当該下フレームに対して回動することで折り畳み可能となる。カートハンドル１１４の左右両側には、カートハンドル１１４の角度（高さ）を調整するための調整つまみ１１４１がそれぞれ設けられている。キャスター１１６は取り外し可能であり、ケーシングと貫設バーを備える。貫設バーは当該ケーシング内に挿入及び位置決め可能であるとともに、当該ケーシングから抜き出し可能とされる。車輪１１７の外側にはクイックリリースボタン１１７１が設けられている。クイックリリースボタン１１７１を押下することで車輪１１７の車軸が後輪の孔から外れ、車輪１１７が取り外される。枠状のシャーシフレーム１１１の後方には、両側の車輪１１７を固定するためのブレーキペダル１１１１が更に設けられている。調整可能天井１３の前側には前窓１３１が設けられており、両側には通気孔１３２が設けられている。また、上面には天窓１３３が設けられており、後方にはファスナー扉が設けられている。更に、ファスナー扉にはポケットが設けられる。

【００１６】

次に、図３Ａ及び図３Ｂを参照する。これらは、本発明にかかるペットカートの調整可能な支持バー及び天井構造の閉止パターンにおける使用状態を示す図と、調整可能支持バー群及び調整可能天井の側面構造を示す図である。図示するように、実際に使用する際には、本発明にかかるペットカートの調整可能な支持バー及び天井構造１を閉止パターンとすればよい。調整可能支持バー群１２及び調整可能天井１３が閉止パターンの場合、天井支持バー１２３が斜め前方に延伸するとともに、前窓支持バー１２４が前方に延伸しつつ枠状のシャーシフレーム１１１と平行になる。このとき、犬２はペットカート本体１１内に落ち着いて座すことが可能となり、寒冷時や雨天の際の使用に特に適している。また、ペットカート本体１１からの犬２の跳び出しを防止可能なだけでなく、調整可能天井１３前側の前窓１３１を開放すれば、犬２の頭を窓外に出すことも可能である（図３Ａ）。

【００１７】

更に、図４Ａ及び図４Ｂを参照する。これらは、本発明にかかるペットカートの調整可能な支持バー及び天井構造の前側開放パターンにおける使用状態を示す図と、調整可能支持バー群及び調整可能天井の側面構造を示す図である。図示するように、実際に使用する際には、本発明にかかるペットカートの調整可能な支持バー及び天井構造１を前側開放パターンとしてもよい。調整可能支持バー群１２及び調整可能天井１３が前側開放パターンの場合、天井支持バー１２３が斜め前方に延伸するとともに、前窓支持バー１２４が天井支持バー１２３と平行な位置まで上方に回動する。このとき、調整可能天井１３の前方に開口が形成される。即ち、前側開放パターンとなり、犬２の散歩時の日除けや小雨時の使用に適している（図４Ａ）。また、犬２が高齢の場合には方向転換が難しいことから、後方からカートに乗せれば、目的地到着後に前方の開口からそのまま下ろすことができる。そのため、高齢の犬２に使用する際の快適性が増し、飼い主にとっても都合がよい。

【００１８】

更に、図５Ａ及び図５Ｂを参照する。これらは、本発明にかかるペットカートの調整可能な支持バー及び天井構造の全開パターンにおける使用状態を示す図と、調整可能支持バ

ー群及び調整可能天井の側面構造を示す図である。図示するように、実際に使用する際には、本発明にかかるペットカートの調整可能な支持バー及び天井構造１を全開パターンとしてもよい。調整可能支持バー群１２及び調整可能天井１３が全開パターンの場合、天井支持バー１２３及び前窓支持バー１２４が回転軸ケース１２１に当接するまで後方に回動する。このとき、調整可能天井１３の前方には大きな開口が形成される。即ち、全開パターンとなり、犬２を日光浴のためペットカート本体１１に座らせる場合に適している。また風通しがいっそうよくなる（図５Ａ）。更に、犬２が高齢の場合には方向転換が難しいことから、後方からカートに乗せれば、目的地到着後に前方の開口からそのまま下ろすことができる。そのため、高齢の犬２に使用する際の快適性が増し、飼い主にとっても都合がよい。

【００１９】

従来技術と比較して、本発明にかかるペットカートの調整可能な支持バー及び天井構造は、主に中型犬や大型犬への使用にいっそう適した全体構造となっている。これによれば、乗車させやすいだけでなく、高齢犬や身体の不自由な犬を前方から下車させられるため、犬を方向転換して下ろす必要がない。そのため、使用時の快適性が増し、飼い主にとっても手間が省け、且つ安心である。また、閉止パターン、前側開放パターン及び全開パターンを提供可能なことから、飼い主は天候の変化や使用場面に応じて調整可能天井の開放パターンを調整でき、全体としての実用性や利便性が高まる。

【００２０】

以上の記載及び図面によって本発明の好ましい実施例につき開示したが、添付の特許請求の範囲で限定する本発明の原理にかかる精神及び範囲を逸脱することなく、各種の追加や様々な修正、置き換えを本発明の好ましい実施例に適用可能であると解釈すべきである。当業者であれば、本発明を様々な形式、構造、装飾、比率、材料、部材及びユニットの修正に適用可能であると理解し得る。即ち、ここで開示した実施例は本発明を説明するためのものであって、本発明を制限するのものではない。本発明の範囲は添付の特許請求の範囲により限定され、上記の記載に限定されることなく、合法的な等価物を包括する。

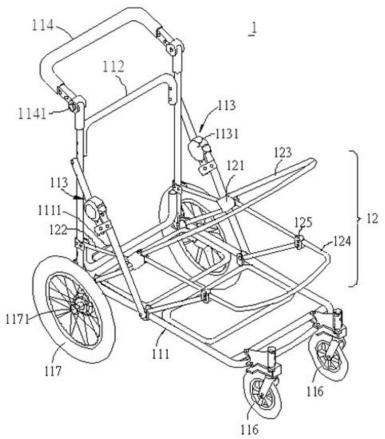
【符号の説明】

【００２１】

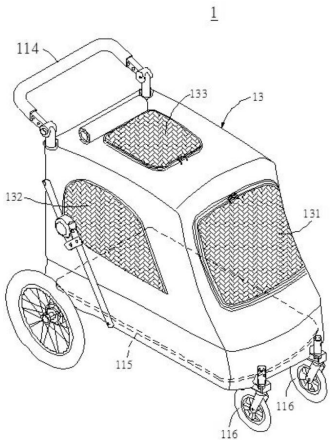
１　ペットカートの調整可能な支持バー及び天井構造
１１　ペットカート本体
１１１　枠状のシャーシフレーム
１１２　後フレーム
１１３　折り畳みフレーム
１１３１　折り畳み関節
１１４　カートハンドル
１１４１　調整つまみ
１１５　底板
１１６　キャスター
１１７　車輪
１１７１　クイックリリースボタン
１２　調整可能支持バー群
１２１　回転軸ケース
１２２　支柱
１２３　天井支持バー
１２４　前窓支持バー
１２５　スライド
１３　調整可能天井
１３１　前窓
１３２　通気孔
１３３　天窓

2 犬

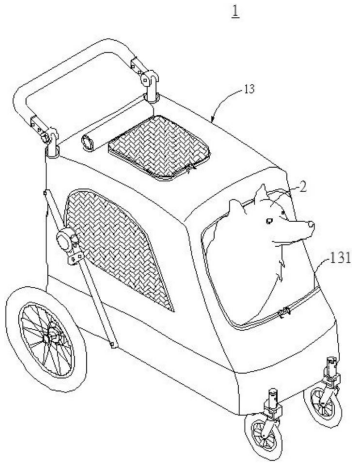
【図１】


1
114
112
1141
113
1131
123
121
113
1111
122
125
124
12
117
111
116
116

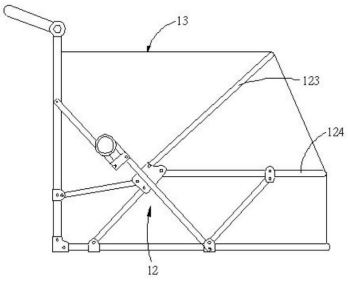
【図２】


1
114
133
13
132
131
115
116
116

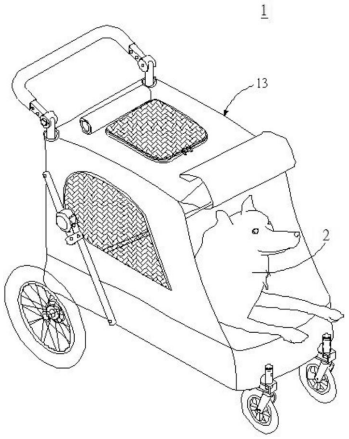
【図３Ａ】



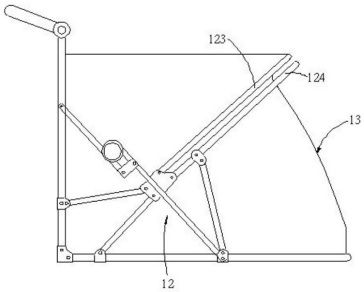

【図３Ｂ】



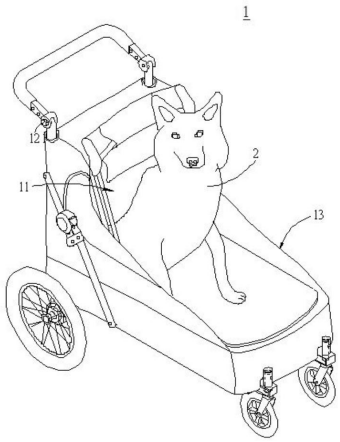

【図４Ａ】



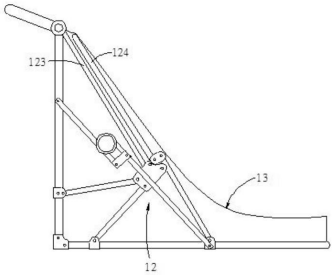

【図４Ｂ】




【図５Ａ】




【図５Ｂ】



フロントページの続き

(56)参考文献 特許第５９３８２０３（ＪＰ，Ｂ２）
特許第４５８３９８５（ＪＰ，Ｂ２）
特許第３７６３０６７（ＪＰ，Ｂ２）
特開２０１８－７５００４（ＪＰ，Ａ）
登録実用新案第３２１４１９５（ＪＰ，Ｕ）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
Ａ０１Ｋ　　１／０２
Ｂ６２Ｂ　　１／００　－　５／０８
Ｂ６２Ｂ　　９／１４